

【小項目評価基準】
 評価5・・・年度計画を大幅に上回って実施している。
 評価4・・・年度計画を上回って実施している。
 評価3・・・年度計画を順調に実施している。
 評価2・・・年度計画を十分に実施できていない。
 評価1・・・年度計画を大幅に下回っている。

地方独立行政法人福岡市立病院機構 平成29年度の業務実績に関する評価結果(案)まとめ

大項目	小項目	指標有無	ウエイ ト	自己 評価	委員 意見	第1回評価委員会意見(評価委員:○, 病院機構:●)	市評 価案	評価の判断理由・評価のコメントなど	資料頁
第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置									
1 医療 サービス	(1) 良質な医療の実践	子ども	○	2	4		4	○4疾病を中心とした高度専門医療の更なる充実や消化器専門医を増員するなどの診療体制の充実により、計画どおり手術件数を着実に増加したほか、救急受入態勢の強化により、救急搬送件数も目標以上に増加した。 ○また、新型インフルエンザの発生を想定した独自の訓練を実施し、非常時に備えた対応能力向上を図っている。 ○数値目標を設定した8項目の指標のうち、新規入院患者数など半数の項目はやや目標値を下回っているものの、計画どおり診療機能の強化が図られ、手術件数等の増加に結びついていることなどを総合的に勘案し、年度計画を順調に実施していると判断されるため、「評価3」とする。	26～27
		市民	○	2	4		3		
	(2) 地域医療への貢献と医療連携の推進	子ども	○	2	4		4		
		市民	○	2	4		4		
(3) 災害時等の迅速かつ的確な対応		×	1	3		3			
2 患者 サービス	(1) 患者サービスの向上	子ども	○	2	3	4	4	○退院時アンケートの意見等を踏まえ、売店の弁当の品揃えの拡充や救急時に経口補水液が入手できるよう屋外に自販機を新設したほか、患児家族滞在施設(ふくおかハウス)の運営に当たっては高い利用率を維持するなど、来院者の利便性向上のため、ハード・ソフト両面で計画どおり院内環境の整備を進めた。 ○特に、ホームページからの再診予約システムの対象診療科の拡大や、退院時アンケートの高い水準を維持した目標を達成したことなどを積極的に評価し、年度計画を上回って実施していると判断されるため、「評価4」とする。	40～41
		市民	○	2	3		3	○会計ピーク時の計算担当者の増員により待ち時間を短縮したほか、病室の天井床の改修やベッドの更新など、計画的に院内の療養環境整備の充実が図られていることから、年度計画を順調に実施していると判断されるため、「評価3」とする。	
	(2) 情報発信		×	1	3	4	4	○ホームページ等を活用し、病院が持つ機能等について、分かりやすい情報発信に取り組んだほか、子ども病院フェスタの規模・内容を拡充したことにより、多数の市民等に対し認知度を向上させた。 ○特に福岡市民病院では、29年度から多数の病院指標を独自設定し、開示する情報の充実を努めていることを積極的に評価し、年度計画を上回って実施していると判断されるため、「評価4」とする。	46～47
3 医療 の質の 向上	(1) 病院スタッフの確保と教育・研修	子ども	×	2	4		4		
		市民	×	2	4		4		
	(2) 信頼される医療の実践	子ども	○	2	3		3	○市民は評価4だが、子ども病院は評価3である。違いは何か。市民病院の4は納得している。 ●PICUのリスク管理のため、マンパワーを抑えたことにより、薬剤管理指導件数の数字が下がったため評価3とした。	
		市民	○	2	4		4	○信頼される医療の実践に向け、感染防止対策の徹底や他病院との情報交換・相互評価、クリニカルパスの見直しや整理、薬剤師による投薬事故防止活動など、様々な取組を行うとともに、引き続き参加した「Q1プロジェクト」においては、好事例として取組実績が認められたことなどから、一部の指標が目標値を下回ってはいるものの、総合的に勘案し、年度計画を上回って実施していると判断されるため、「評価4」とする。	
第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置									
1	自律性・機動性の高い運営管理体制の充実		×	1	3		3		
2	事務部門の機能強化		×	1	3		3		
3	働きがいのある職場環境づくり		×	1	3		3		
4	法令遵守と公平性・透明性の確保		×	1	3		3		
第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置									
1 経営 基盤の 強化	(1) 経営基盤の強化と運営費負担金の縮減	子ども	○	2	4		4	●2億円の運営費負担金を縮減した上に、1億4千万円の収益を上げたので評価4とした。	68～69
		市民	○	2	4		4		
	(2) 投資財源の確保		×	1	3		3		
2 収支 改善	(1) 収益確保	子ども	○	2	4		4	○収益の確保に向けた様々な取組みの結果、病床利用率や手術件数等の数値目標を達成し、入院収益が確保されたものの、数値目標を設定した8項目の指標うち、入院診療単価や新規入院患者数など半数の項目はやや目標値を下回っている。 ○リハビリテーション提供体制の更なる充実や未収金発生防止・確実な回収などにより増収が図られた点を総合的に勘案し、年度計画を順調に実施していると判断されるため、「評価3」とする。	76～77
		市民	○	2	3	4	3		
	(2) 費用削減		○	2	3		3	○両病院ともジェネリック医薬品の使用拡大による価格低減を図り、ジェネリック医薬品導入率が年度目標を達成するとともに、薬品費対医療収益比率においても年度目標を達成した。 ○数値目標を設定した項目のうち、半数はやや目標値を下回っているものの、両病院とも費用の削減に取り組み、一定の成果が出ていることを積極的に評価し、年度計画を順調に実施していると判断されるため、「評価3」とする。	
第4 その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置									
1	福岡市立子ども病院における医療機能の充実	子ども	×	2	5		5	○子ども病院においては、腎・泌尿器センターの新設をはじめ、当初、計画していた全ての項目について高いレベルで達成した上で、さらに先天性心疾患の手術症例数や川崎病センターにおける症例数が全国一となったほか、海外でも調査研究の成果が認められるなど、複数の特筆すべき成果を挙げたことを積極的に評価し、年度計画を大幅に上回って実施していると判断されるため、「評価5」とする。	84～85
2	福岡市民病院における経営改善の推進	市民	×	2	4		4		